

香港マグロ輸送作業詳細組織連携フローチャート

- 1 香港X様より株式会社Yにファックス文書にて注文が入ります（通常検疫検査証明書の兼ね合いから出荷より2週間前）注文ならマグロセリ値に手数料込みのマックス値を事前に入金いただきます。
12月29日出荷分は送料も別途Yに振り込まれました。
- 2 出荷7日基本的に（月曜日）前Yはキハダマグロを準備します。
（入金確認時より作業開始）
- 3 準備されたキハダのサンプリング（500gのサンプル重量）をYは行い沖縄環境科学センターへ検査依頼を持ちこみで行います。（料金は26250円）
12月29日出荷分はS研究所が行い沖縄環境科学センターへ検査依頼いたしました。時間的余裕もなく年末という状況下の為2ロット検査いたしました料金52500円X2様了解済み）
- 4 沖縄環境科学センターは検査依頼により水銀濃度測定とビブリオ菌検査を行い香港の（日本の輸入基準）基準以下であることの証明書を発行いたします。最短3日で検疫パスの為の証明書発行が沖縄環境科学センターにてなされ、出荷可能となります。今回12月21日午後3時に提出し結果報告は12月24日午後4時に証明書発行がなされました。
- 5 検疫パス証明が出たらYに連絡が入ります。Yは日通に連絡を入れ出荷準備の打ち合わせを行います。
その報告にてXより日通に送料及び諸手続き費用が振り込まれます。今回はYに送料及び諸手続き料金が振り込まれました。
- 6 日通はYに出荷の段取りの連絡を入れます
証明書発行は7日かかる場合もあり、その場合NGの可能性がります。第一の注意の日となります。基本的に3日目の最初の報告が曖昧な場合出荷は取りやめ措置をとります。今回2009.12.21注文において24日に保留になった原因がビブリオ菌であった場合、S研究所は別検体のサンプリングを行い提出いたします。28日に証明書が発行されますので29日の出荷に間に合います。
今回はOASのZが対応いたしました。
- 7 日通はYよりキハダマグロを引き取り、同一ロットナンバーに証明書を添えて税関申請を行いファックスにて書類をWAC→UOに引き渡しますUOは確認書を持って香港向けキハダマグロを搭載します。
WACはUOの貨物部門の販売を委託され
OAS(日通)さんのような貨物代理店への営業を行って

おります。実際の書類の流れは以下の通りなのですが、
混乱を避けるために OAS から UO までの間は省略して
記載していただいたほうがよいと思います。

発注書： X - (FAX) → (株) Y
発送依頼： (株) Y - (電話) → OAS
搭載依頼書： OAS - (FAX) → WAC
搭載確認書： WAC - (FAX) → UO

8 香港空港にてUOよりXの物流会社X3

X3 空港荷受けいたします。今回無事到着荷受けの連絡を12月29日午後9時に受け
ました。

ここで何らかの書類不備が生じた場合は荷受けできませんので、マグロの保存方法
をお考えください。今回はラウンド（丸1本）送りなので冷蔵管理を十分に行うこ
とで品質維持は可能となります。

今回は書類を念入りにチェックした限り問題は無きものと考えます。

今回の取引において

すべての作業が完了したらYより別途料金送料及び諸手続き料金の振り込みがなさ
れます。その金額に応じて各連携業者に支払いが数日以内に行われます。余った金
額が出た場合、Xに振り込み料金手数料を差し引いた余剰金額を返却します。

支払経路はYが元締めになっております。マグロがないと始まらない理由
Yがすべての料金のお支払を約束するものではないことをご了承ください

荷受人が、Xではなく、以下の会社とするよう、

変更の依頼が来ましたので、間違いなく、変更をお願いします。

X3 adress tel

今回の大まかな明細書です。

1 マグロ代金150キロ×1800円=270000円(手数料消費税込)

2 水銀、ビブリオ検査料金26250×2=52500円

マグロの代金とビブリオ検査の見積もりは周超音波研究所が行いました。

3 送料申請料航空貨物輸送料金100895円

送料及び諸手続き料はOASが行いました

現在の進行状況

- 2009.12.21 午前7時キハダマグロ調達 マグロ代金の振込確認16時 Y
- 12.21 午後12時30分サンプリング→午後3時沖縄環境科学センターへ直接持ち込み検査依頼A150キログラム/5本, B150キログラム/5本の2ロット別検査
料金52500円 S研究所(注1 Yの代行)
- 2009.12.24 午後3時ごろ沖縄環境科学センターより最短の検査結果が出ました
直接証明書を受け取りにS研究所 S1が受け取り
検査証明書は書式を香港検疫パス様式の英文の証明書発行となり5枚、5枚の10枚
Y-1様12月25日午前8時に手渡ししました
英文証明書作成 沖縄環境科学センター 担当〇〇〇
- 2009.12.24 午後4時ごろ書類作成など出荷体制が始まりました
- 2009.12.29 午前9時Y-3様の監督の下梱包作業し、午前11時までに那覇空港にキハダマグロ配送
- 書類は日通→WAC→UOで流れ、香港へキハダ空輸
- 2009.12.29 日本時間午後8時30分前後で香港到着、荷受け連絡午後九時受けました
組織連携図 黄色の枠色は基本的に不要、今回は初回なので確実性を考慮するため設置

↓ マグロの移動 ↓ サンプル検体経路 ↓ 報告書経路 ↓ 支払経路

